

WACON NEWS

ワコン通信 ～2025.11～

発刊元

WACON

'25-11号

【HP】



【公式Insta】



【本社】和歌山県紀の川市中井阪361
TEL：0736-77-2203

【東京営業所】TEL：03-5875-3560

【大阪事業所】TEL：06-4307-3867

編集：企画技術室

皆様、こんにちは。11月に入り、朝夕の冷え込みが一段と強まり、本格的な秋の深まりを感じる季節となりました。街路樹も赤や黄色に色づき、落ち葉が道に舞いはじめる光景から、冬の足音が少しずつ近づいていることを感じますね。

11月は「実りの秋」もいよいよ終盤。旬の食材では、りんごや柿、さつまいも、新米など、秋の味覚が引き続き楽しめる時期です。

街中ではクリスマスの装飾が見られるようになり、季節の移ろいとともにどこかワクワクする雰囲気も漂い始めています。

一方で、朝晩の寒暖差が大きく、体調を崩しやすい時期でもありますので、暖かい服装や加湿などで体調管理を意識したいですね。

今月のニュース

●TOPICS 『社内イベント【ボーリング大会】開催しました』

●事例紹介『定温輸送方法見直しませんか？』

●事例紹介『入れ方の工夫で輸送効率アップ！』

TOPICS

社内イベント【ボーリング大会】開催しました

弊社では、社員間のコミュニケーション促進と職場環境づくりの一環として社内活動やイベントを定期的 to 実施しています。

先日はその取り組みのひとつとして、ボーリング大会を開催いたしました。当日は部署を越えた交流が生まれ、和やかな雰囲気の中でリフレッシュしながら親睦を深めることができました。今後も、より良い職場づくりにつながる取り組みを継続してまいります。



事例紹介

定温輸送方法見直しませんか？

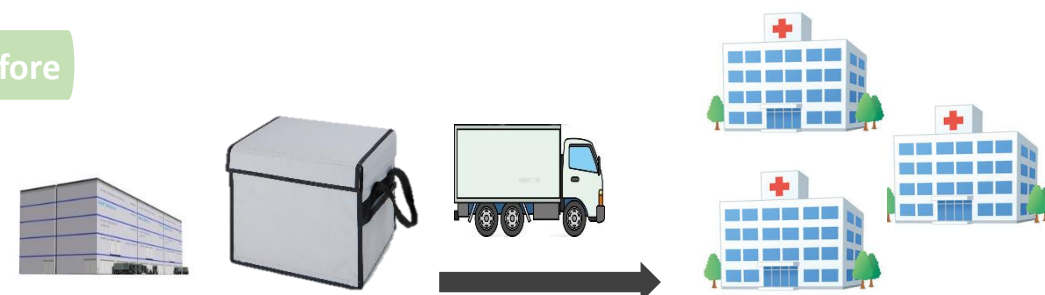
お困りごと

私たちの商品は、病院などの医療現場に納品する際に、医療機器として温度管理が必須なんです。しかも、配送にかかる時間が長くて、3日（72時間）以上、15～25℃を保つ必要があるんですよ。ただ、この温度帯をそんな長時間キープしようとすると、どうしても蓄熱材をたくさん入れないといけなくて…。そうすると、箱がどんどん大きくなってしまって、結果的に配送効率が悪化しています。



医療機器製造会社様

Before



センターでの保管作業も大変
蓄熱材もたくさん使用するので梱包作業も大変

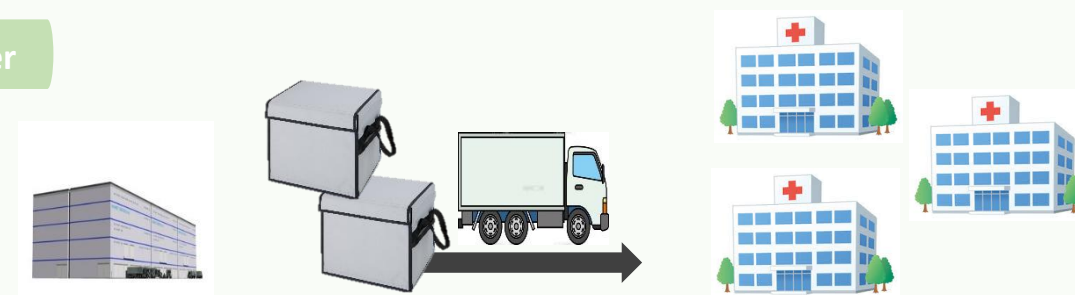
BOXが大きく、配送効率が悪い・・・

ご提案

真空断熱材（VACUPRIME）入り、高性能BOX＋蓄熱材（6枚 4.8kg）

72hr以上の間、外気温35℃の環境で20℃（15℃～25℃）温度キープ可能！

After



BOXをミニマイズすることでセンタースペースも削減
蓄熱材数も最低限にすることで、作業も簡素化

従来よりもたくさんの施設への配送が可能
1車あたりの積載効率UP

ここがポイント



●真空断熱材入りの超高性能BOXで、蓄熱材の使用量を最小限にすることが可能。



●弊社独自の温熱解析シミュレーションを用いて、BOXと蓄熱材の両方をご提案可能



※別途必要であれば、弊社恒温庫での温度実験も可能

●BOXサイズを宅配便で受託できるサイズまで小さくすることで、配送コストを大幅削減

今回のお客様

空調・冷凍機器の機能部品の製造、販売会社様



お困りごと

配管をもっと効率よく梱包できないか考えています。
現在は1段に2本、合計4本しか入らないのですが、できれば
6本入りにして輸送効率を上げたいと思っています…。
ただ、外箱は他の商品とも兼用しているので、箱のサイズは
変えずに入数を増やす、そんな方法はありませんか？

現行の梱包

外箱+仕切り材



【入り数を増やす課題】

今回のご相談では、使用している外箱が他の商品とも兼用されており、
箱サイズの変更ができないという前提がありました。

一般的に入り数を増やすと、

外箱が大きくなる場合がありますが、今回はそれが不可能。

そのため決まった外箱サイズに合わせた固定材を設計する必要がある。

入り数を増やそうとすると、どうしても箱の寸法が不足してしまう課題がありました。



担当営業

ご提案内容

固定観念にとらわれず、斜めに入れる形状の固定材を提案しました。



ここがポイント！



•箱サイズはそのまま、
配管を斜めに配置する発想で1段2本 → 1段3本を実現
限られた箱寸法の中でも、角度をつけることで
無駄な空間を有効活用しました。



•入数が増えたことで、配管1本あたりの梱包単価を33%削減！
外箱はそのままに梱包本数が増えた
ことにより輸送効率が大幅に向上しました。



•梱包材コストは従来とほぼ同等に維持
ダンボールの使用材料は大きく変わらず現状コストを維持。



担当営業

固定の考え方にとらわれず、“入れ方の工夫”で輸送効率を見直しませんか？